



応急救護体験風景

命

どろう

守る

地域との連携を深める防災教育

睦岡地域合同防災訓練



防災展示コーナー



開会式風景

**地域と学校が一体となった
防災訓練**

8月27日、睦岡地域の12地域が
参加しての小学校と各地域の合同
防災訓練が、睦岡小学校で行われ
ました。

この防災訓練は、児童とその保
護者、そして地域住民が各種の防
災体験を通して、災害や防災に対
する意識を高め、災害時に的確に
行動が取れる判断力、実践力を身
につけることを目的としていま
す。同時に地域や身近にいる人ど
うしのネットワークづくりをし、
助け合いや支え合えるつながりを
築こうとするものです。

参加者は、徒歩で避難場所（体
験会場）まで移動し、地域ごとに
5班に分かれ、非常食・救出救護
体験、災害関係ビデオの視聴、応
急救護体験、初期消火体験、煙体
験の5箇所のブースをまわり防災
体験をしました。

この防災体験を通して、いつど
んな災害が発生するかわからない
ことを普段から考え、「命」をど
う守るか自分なりに、また、家族
で、地域で考えておくことが大切
です。そのことが災害に強い学校
やまちづくりとなり、いざという
時に役立てることが出来ます。

④救出救護訓練

消防団による身近な物を使用しての担架づくり



⑤応急救護体験

救命処置として、心肺蘇生法とAEDの使用
方法を説明する消防署職員



⑥ビデオ視聴

阪神淡路大震災の映像など災害関係のビデオ
を視聴



①非常食体験

地元消防団の協力を得て、アルファ米や保存
用ビスケットなど試食



②初期消火体験

水消火器を使用し消火器の使い方を、消防署
職員から説明を受け体験



③煙体験

火災発生時の煙の恐ろしさを体験し、煙の対
処法を知る



防災に強い学校とまちづくりは、
人と人とのつながりを深めることから始まる

今、学校ができること



睦岡小学校
校長 椎名 義明

今回の防災訓練は、県の事業である「地域との連携を深める防災教育公開事業」の実施校として、睦岡小学校が選ばれたものです。どの程度地域の方が参加してくれるか心配ではあったのですが、約500人の方に参加いただきました。

この、防災訓練では、児童・保護者・地域住民の方と連携して行うことができました。また、参加者の防災に対する意識が高まり、体験したことが、いざという時に役立てることができると思います。これを機会にさらに地域との連携を深めるには、さらによりよいネットワーク作り、コミュニケーションが必要だと思います。

睦岡小は、地域の多くの人に助けられております。今後、地域と連携して学校ができることは、児童を仲立ちとして、学校と地域のつながりが図れることを実施することだと思えます。